

研究開発・知的財産

住友大阪セメントグループは、常に独創技術の開発を基本理念として、主力事業であるセメント・コンクリート、ならびにその周辺分野の新技术・新製品の研究開発をはじめ、それらの基盤技術をベースとした光電子・新材料事業分野における研究開発に至るまで、幅広く積極的な研究開発活動を行っています。

セメント・コンクリート研究所

セメント・コンクリート研究所は、高機能コンクリート、コンクリート舗装技術、超速硬性補修材料・工法、環境負荷低減技術など、幅広い分野で、新しい技術や商品の開発を進めています。

セメント・コンクリート研究所 研究開発方針

「“アンダー ワンループ” のもと、コア事業の付加価値増大に向けた技術の実装を図る」

- 1) リサイクル事業の収益拡大および低炭素社会へ寄与する設備効率化
- 2) 建設現場の生産性向上と、省力・省人・自動化を見据えたコンクリート技術開発
- 3) セメント工場より排出されるCO₂を資源化利用したカーボンリサイクル技術開発
- 4) 乾式吹き付け技術を中心とした省力化工法技術の開発

新規技術研究所

新規技術研究所は、エネルギー、環境、情報通信、エレクトロニクスなどの領域に革新をもたらすべく、「光情報通信技術」を核としたオプトエレクトロニクスデバイス・機器の開発と「ナノマテリアル技術」を核とした半導体製造装置部材、各種機能性材料の開発を行い、光電子事業、新材料事業を支えています。



新規技術研究所 研究開発方針

「小型集積型変調器と静電チャックの商品開発、および自動化量産プロセス開発への選択と集中」

- 1) プロジェクト体制による小型集積型変調器の開発加速
- 2) 静電チャック事業の競争力維持向上に向けた要素技術開発
- 3) 変調器および静電チャックの組立工程自動化ライン開発
- 4) 事業領域/規模拡大に向けた研究開発

知的財産

知的財産部では、
グループの持続的な成長を支える為の
経営基盤強化を目的に、次の取り組みを推進します

- 1) 知財スキル人材の育成強化
- 2) 知財情報解析の経営戦略への活用 (IP ランドスケープ)

執行役員
知的財産部担当
知的財産部長
柳町ともみ



1. 知財スキル人材の育成強化

グループの持続的な成長を支える経営基盤の強化を図る為、知的財産を戦略的に創出・活用できる人材（「知財スキル人材」）の育成強化に取り組みます。

具体的には、変化し続ける事業環境において将来を見据えて知的財産の活用をイメージできる者の育成や、そのイメージに対してどのような知的財産を創出したら良いかを粘り強く考えて知的財産権を形成する者を育成します。そのような人材を育成し増強することが経営基盤の強化そのものであるとともに、創出される知的財産は将来において確実に経営価値につながるものと期待しております。少しでも多くの社員にそのような人材になっていただきたいと考えており、職種や階層に合わせたきめ細やかな知財スキル人材の育成を実行します。

2. 知財情報解析の経営戦略への活用 (IP ランドスケープ)

経営戦略策定への活用を目的に、知的財産情報解析を実行します。例えば、「政策・市場・技術」の情報と知的財産情報を融合して解析を行うことで事業を取り巻く状況の変化を想定し、知財視点からのリスクの提示と機会の提案を行います。また、自社ビジネスに係る「環境・経済・社会」の動向に沿って知的財産情報を解析し、社内関係部門に提供することで環境解決に向けた独自のビジネスモデルの策定や拡大に貢献します。

中長期的な視野で知的財産情報を解析し、将来のドメインで競争優位な技術や知財の創出に有益な情報を提供することで、SOC Vision2035に向けた知的財産の創出と活用を推進します。

IP ランドスケープのイメージ

